

平成27年度 事業報告書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

住 所 東京都文京区春日1丁目16番30号

法人名 公益財団法人 講 道 館

平成 2 7 年度事業報告書

【公益事業】

1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

各種学校に認定されている学校講道館で、生徒の技能、習熟度合いに応じて柔道を技術面と態度面から指導した。技術に関する内容は、基本動作、対人技能、試合と段階的に進めた。態度に関する内容は、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視し指導に当たった。

平成 2 7 年度の学校講道館の生徒数について、平成 2 5 年度、2 6 年度を挙げて 2 7 年度と比較した。

(生徒数の変遷)

(名)

| | 平成 2 5 年度 | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 柔道普通科 | 6 9 | 5 0 | 5 1 |
| 柔道特修科 | 1 5 0 | 1 4 0 | 1 2 8 |
| 柔道補習科 | 4 1 | 4 4 | 4 9 |
| 柔道研修科 | 1 9 | 1 9 | 1 8 |
| 柔道国際科 | 2 6 | 2 4 | 3 4 |
| 合 計 | 3 0 5 | 2 7 7 | 2 8 0 |

2. 講道館道場における柔道の指導教授

(1) 道場における指導

延べ 1 5 0 名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育、発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけにとどまることなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。態度に関する内容は、柔道が我が国の伝統的な運動文化であるため、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視して指導した。

(指導員・講師)

道場における修業者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員 (18 名)、成年部指導員 (29 名)、女子部指導員 (17 名) 及び大阪道場指導員 (27 名) を選任し、学校講道館では少年部講師 (21 名)、男子部講師 (42 名)、女子部講師 (11 名) 及び国際科講師 (8 名) を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。特に指導に関しては柔道技術面にとどまることなく、講道館柔道が目的とするところの師範の遺訓の精神に基づいた人間形成、社会貢献を目的とした高邁な理想を目指し礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方を留意する態度などを重視して指導にあたった。

(稽古時間及び指導時間)

| (本館) | | (大阪) | |
|-----------------|----|------|----------------------|
| ア. 一般稽古 | | | 午後 6 : 0 0 - 8 : 0 0 |
| 平日 | 男子 | 午後 | 4 : 0 0 - 8 : 0 0 |
| | 女子 | 午後 | 6 : 0 0 - 7 : 3 0 |
| 土曜 | 男子 | 午後 | 4 : 0 0 - 7 : 3 0 |
| | 女子 | | 平日に同じ |
| イ. 少年指導 | | 午後 | 4 : 3 0 - 6 : 0 0 |
| | | | 午後 5 : 0 0 - 6 : 0 0 |
| ウ. 「形」指導 | | | |
| 毎月第 2 ・ 第 3 土曜日 | | 午後 | 3 : 3 0 - 5 : 3 0 |

(2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、年1回の全体研修会及び各部ごとの研修を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1・2回の形研修を実施した。

(3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において、7月13～22日の10日間（申込者数269名 皆出席者数113名）、大阪国際柔道センターにおいて、7月21～25日の5日間実施した。

寒稽古は、講道館本館において、平成28年1月6～15日の10日間（申込者数296名 皆出席者数173名）、大阪国際柔道センターにおいては、1月12～16日の5日間実施した。

(4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合及び月次試合を行った。

○月次試合 ー 年間14回実施し、合計1,245名の参加者であった。

○紅白試合

春季紅白試合（平成27年5月31日）：男子363名 女子70名 計433名

抜群者 男子2名（弐段→参段2名） 女子0名

秋季紅白試合（平成27年10月11日）：男子457名 女子96名 計553名

抜群者 男子4名（初段→弐段1名 弐段→参段2名

参段→四段1名） 女子1名（女子弐段→女子参段）

大阪前期紅白試合（平成27年4月19日）：男子142名 抜群者 男子1名（初段→弐段1名）

（平成27年5月9日）：女子15名 抜群者 女子0名

大阪後期紅白試合（平成27年12月12、13日）：男子126名 女子28名 計154名

抜群者 男子4名（初段→弐段3名 弐段→参段1名） 女子0名

3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

平成27年8月16日、17日、北海道函館市において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の全国（47都道府県）委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催し、柔道の教育的、体育的、精神的面から柔道を通じて次代を担う青少年の健全な育成をはかる方策について意見を交換した。また、講道館から講師を派遣し、「中学校における柔道指導者の在り方」「国際柔道連盟試合審判規定の考え方」について講演を行った。

4. 柔道による青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

(1) 平成27年6月6日（土）に青少年の柔道普及を目的として「少年部錬成発表会」を大阪国際柔道センターで開催した。当日は、幼少年部の練習生・保護者が多数集まり、親睦を図ると共に、日頃の練習の成果を乱取・試合等を通じて披露するとともに、高段者による各種形の演技も行い、充実した催しとなった。

(2) 平成28年2月11日（木・祝）に開催された全日本柔道少年団各地区代表者会議の場において、柔道少年団の組織の強化・活動の充実化の為の具体案や、小学校児童の健全育成の対策等について意見の交換を行った。

(3) 大阪国際柔道センター少年部の12名が本館の「少年柔道夏期講習会」に参加した。

5. 柔道による青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体（110団体）の会長会議を平成28年2月26日（金）に開催した。昇段時費用調査の結果について、女子柔道昇段資格に関する内規について、青少年育成講習会について、それぞれ説明を行い、意見交換が行われた。

6. 柔道に関する講習会の開催

(1) 夏期講習会

夏期講習会を平成27年7月16日から8月5日までの間、実施した。

*附属明細書①参照

(2) 講道館講習会

正しい柔道の一層の普及発展を図るため、本年度も本館から講師を派遣し（経費は講道館負担）、講道館講習会を実施した。派遣先は計15カ所で、講師の延べ人数は17名であった。

*附属明細書②参照

(3) 講道館形講習会

制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、全国10地区毎に講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は10地区(11ヶ所)で、講師は延べ44名であった。

*附属明細書③参照

(4) 青少年育成講習会

日本の将来を背負う青少年に、講道館柔道の真の理解と、柔道を通じた心身の健全な育成を目的とした「青少年育成講習会」を全国6カ所で行った。

①北見（北海道）②佐渡（新潟県）③松江（島根県）④始良（鹿児島県）
⑤大阪講道館（大阪府）⑥東松島（宮城県）

7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

(1) 柔道指導者の海外派遣を、下記の通り行った。

ア. 本館による短期派遣（2ヶ国、14名）

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣（3ヶ国、5名）

ウ. 国際柔道連盟（IJF）アカデミーへの派遣（2カ国、2名）

エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣（1ヶ国、1名）

オ. 国際交流基金による短期派遣（3ヶ国、4名）

カ. 国際柔道連盟（IJF）、アジア柔道連盟（JUA）関係諸行事及び大会への派遣（6ヶ国、12名）

*附属明細書④参照

(2) 外国人柔道指導者等の受入れを、下記の通り行った。

ア. 平成27年度、本館において修行した外国人は男子76カ国より1,098名、女子36カ国より262名、合計で78カ国より1,360名であった。

昨年と比べ、国数においては14カ国の増、修行者数では男子126名の増、女子68名の増、全体で194名の増であった。

イ. 本館で受け入れた外国からの団体及びナショナルチームは53団体であった。

ウ. 講道館柔道国際セミナーを下記の通り開催し、海外の柔道指導者を受け入れた。

期間：平成28年3月2日～3月25日

受講者：モンゴル2名、サウジアラビア2名、マダガスカル2名、ブラジル1名、ブルガリア1名
計8名

エ. 国際柔道連盟（IJF）主催、本館と（公財）全日本柔道連盟共催によるIJF審判・コーチセミナー並びに本館主催による講道館講習会を開催した。

期間：平成28年1月28日～30日

対象者：各国柔道連盟審判員、コーチ、各大陸連盟審判委員、IJF役員

84カ国・地域と6団体から340名が参加

オ. その他来館者（デモンストレーション、賓客、取材等）

マダガスカル大統領補佐官、マダガスカル教育省文化担当 平成27年9月11日

コンゴ民主共和国スポーツ大臣 平成27年12月17日

コスタリカ五輪委員会会長 ヘンリー・ヌニェス夫妻 平成27年12月25日

(3) 国際協力機構（JICA）青年海外協力隊員に関わる事業等

ア. 青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

期間：平成28年3月2日～25日

受講者：平成28年度1次隊研修生3名、平成28年度2次隊研修生2名

- イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている青年海外協力隊員
平成 27 年度に任期を終了して帰国した隊員は計 5 名であった。
平成 28 年 3 月 31 日現在で赴任中の隊員は計 17 名であった。
- ウ. JICA シニア海外ボランティア
平成 27 年度に任期を終了して帰国したシニア海外ボランティアは計 0 名であった。
平成 28 年 3 月 31 日現在で赴任中のシニア海外ボランティアは計 1 名であった。
*附属明細書⑤参照

(4) ユース柔道教育キャンプの開催

正しい柔道の普及振興を図るとともに、次世代のリーダーを育成する目的で、海外の青少年修行者グループを講道館に招聘する「ユース教育キャンプ」を開催した。

期間 : 平成 28 年 3 月 2 日～16 日

対象者 : ブータン・ユースチーム選手 7 名、役員 3 名 計 10 名

(5) 柔道器材支援

a. 寄贈

講道館柔道器材支援として、柔道衣合計 240 着を寄贈した。

b. 提供

支援用柔道衣として、合計 323 着の柔道衣の提供を受けた。

8. 柔道に関する調査研究

(1) 以下の要領で研究集会を平成 28 年 3 月 25 日に開催した。

演題: 『絞め技による「落ち」(意識消失)の生理と活法について』

講師: 明治大学教授・医博 春日井敦夫氏

今日、武術としての絞め・落ち・活法等は、「試合規定」との関係で将来的課題となって残った。

(2) 講道館技研究部会は、DVD 作成及び「講道館柔道用語辞典」作成の作業を行った。

(3) 形部門に特化して「形検討委員会」において各形の留意点作成の為の協議を行った。

9. 柔道に関する図書、雑誌等の編集発行

(1) 雑誌「柔道」

講道館機関誌である月刊「柔道」を 4 月号 1,850 部、5 月号 1,650 部、6 月号 2,000 部、7 月号～10 月号各 1,650 部、11 月号 1,850 部、12 月号～3 月号各 1,650 部を毎月 1 日に発行した。

内容は講道館柔道に関する論説、国内外の主要な大会、講道館行事の報告、講道館主催の講習会、各地だより、全柔連のページ、昇段者、月次試合、科学の頁等であり、広く国内外に配布して柔道の普及発展に寄与した。

10. 柔道に関する文献資料の収集保存及び展示

(1) 資料館

ア. 資料の保存環境の向上

定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。

イ. 入館者数 4,050 人 (前年度比 560 人増)

国内男性 1,228 人、国内女性 508 人、海外男性 1,627 人、海外女性 687 人

総合的学習の一環として来館した学校は以下の 6 校 (事前申請のあった学校のみ記載)

- 岩手県一戸町立一戸中学校
- 東京都渋谷教育学園高等学校
- 愛知県常滑市立鬼崎中学校
- イギリス ハロウ校
- 韓国 濟州特別自治道教教育庁

ウ. 資料収集の促進

寄贈受入 21 点

エ. 大会開催日等における休日開館

実施日：全国少年柔道大会合同錬成（5月4日）、嘉納師範生誕祭（10月31日）、鏡開式（1月10日）、IJF 審判・コーチングセミナー（1月30日）

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供

- a. 和書 49冊
- b. 洋書 43冊
- c. 映像資料 4点

蔵書数は和書4,702冊、洋書1,092冊の合計5,794冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 187点

ウ. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の受入

a. 寄贈

- ・「柔道」講道館, 86巻4-12号, 87巻1-3号 2015年4-12月, 2016年1-3月
- ・「月刊武道」日本武道館, 2015年4-12月, 2016年1-3月
- ・「近代柔道」ベースボール・マガジン社, 37巻4-12号, 38巻1-3号 2015年4-12月, 2016年1-3月

b. 購入

- ・「武道学研究」（平成27年度分）
- ・「体育学研究」（同上）

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 55件（研究者、学生、マスコミ関係者、一般等）

オ. 図書館利用者数 752人（前年度比 121人増）

国内男性 307人、国内女性 74人、海外男性 312人、海外女性 59人

11. 柔道の国際大会及び国内大会の開催

(1) 皇后杯全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本女子柔道選手権大会は、前年度優勝者および準優勝者の推薦2名と全国10地区代表34名の計36名により、4月19日横浜文化体育館にて開催した。

(2) 全国柔道高段者大会

4月28日講道館大道場で開催した。全国から八段28名、七段211名、六段461名、五段482名、合計1,182名の参加があった。

(3) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道選手権大会は、4月29日（昭和の日）に日本武道館で盛大に執り行った。出場選手は、推薦選手として前年度優勝者および準優勝者の2名と全国10地区選出の40名を合わせた計42名であった。

(4) 全国少年柔道大会

第35回全国少年柔道大会は5月5日講道館大道場において開催した。都道府県各1チーム（東京都は2チーム）の48チームが参加、試合は団体戦のみ（本年度から個人戦を廃止）で、3チームによる予選リーグを行い、勝ち上がった16チームにより決勝トーナメントで優勝を競った。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道形競技大会は、11月21日に講道館大道場で開催した。投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形の7種目が行われ、全国の10地区代表140名、推薦枠6組12名および全国枠6組12名の合計164名により優劣を競った。

12. 柔道の段位認定

(1) 入門者

本年度の入門者は20,386名で昨年度に比べ495名の減となった。
過去10年の入門状況は次のとおりである。

| 年 度 | 入門者数(名) | 前年比(名) | 年 度 | 入門者数(名) | 前年比(名) |
|-----|-------------------------------------|--------|-----|-------------------------------------|--------|
| H18 | 28,278 (男子) 23,900 (女子) 4,378 | +1,162 | H23 | 22,729 (男子) 18,680 (女子) 4,049 | -1,387 |
| H19 | 25,188 (男子) 21,360 (女子) 3,828 | -3,090 | H24 | 23,055 (男子) 18,995 (女子) 4,060 | +326 |
| H20 | 25,281 (男子) 21,345 (女子) 3,936 | +93 | H25 | 21,643 (男子) 17,543 (女子) 4,100 | -1,412 |
| H21 | 23,929 (男子) 19,867 (女子) 4,062 | -1,352 | H26 | 20,881 (男子) 16,927 (女子) 3,954 | -762 |
| H22 | 24,116 (男子) 19,949 (女子) 4,167 | +187 | H27 | 20,386 (男子) 16,400 (女子) 3,986 | -495 |

(2) 外国人入門者(上記(1)の内数)

本年度の外国人入門者は56の国・地域から男子514名、女子118名の合計632名であった。

(3) 昇段者

本年度の昇段者は合計27,988名で昨年度に比べ418名の減となった。
過去10年の昇段状況は次のとおりである。

| 年 度 | 昇段者数(名) | 前年比(名) | 年 度 | 昇段者数(名) | 前年比(名) |
|-----|-------------------------------------|--------|-----|-------------------------------------|--------|
| H18 | 37,888 (男子) 32,705 (女子) 5,183 | +2,160 | H23 | 31,940 (男子) 26,833 (女子) 5,107 | -301 |
| H19 | 33,635 (男子) 29,224 (女子) 4,411 | -4,253 | H24 | 32,333 (男子) 27,181 (女子) 5,152 | +393 |
| H20 | 33,934 (男子) 29,194 (女子) 4,740 | +299 | H25 | 30,326 (男子) 25,197 (女子) 5,129 | -2,007 |
| H21 | 32,577 (男子) 27,706 (女子) 4,871 | -1,357 | H26 | 28,406 (男子) 23,413 (女子) 4,993 | -1,920 |
| H22 | 32,241 (男子) 27,161 (女子) 5,080 | -336 | H27 | 27,988 (男子) 23,061 (女子) 4,927 | -418 |

13. 柔道の合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる場合、参加者及び指導者・運営役員等に対して宿泊や休憩のための施設を安価に提供した。27年度宿泊者は延べ総数9,588人であった(26年度9,814人)。一度の利用人数が数名から数十名と多く、また利用期間が数日から数週間と長期に亘ることもあり、宿泊・休憩施設が道場や会場と隣接していることで効率的・効果的な活動をサポートした。また、健康面、安全面、衛生面でも安心して使用して頂けるよう努力した。

【収益事業】

14. 物品販売

柔道関係の書籍・ビデオ・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

(1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段内規、嘉納治五郎（伝記）、JIGORO KANO AND THE KODOKAN（同伝記英語版）、講道館柔道試合審判規定、激闘の轍、百三十年沿革史、嘉納治五郎著作集(一)～(三)、嘉納治五郎(私の生涯と柔道)、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

(2) DVD

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形、全日本柔道選手権大会激闘の轍（昭和編）・（平成編）、術から道へ
ビデオ
三船十段、鏡開式

(3) 雑貨

ネクタイ、タオル、高段者バッチ、キーホルダー、額(大)、額(小)、段マーク、短冊（精力善用・自他共栄）、色紙（精力善用 自他共栄）、額（精力善用・自他共栄）師範遺訓額（和文、英文付き、和文<小>）

(4) 刊行物

カレンダー、絵葉書

(5) その他

講道館マーク使用料等

15. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、病院、事務所、駐車場等として賃貸した。また、自動販売機等のサービスを有料で提供した。概要については下記の通り。

(1) 貸室

| | |
|---------------|------|
| 講道館本館 7階 | 歯科医院 |
| 本館 6階 | 医院 |
| 本館 5階 | 事務所 |
| 本館 4階 | 事務所 |
| 本館 2階 | 事務所 |
| 新館 1階・地下 | 物品販売 |
| 大阪国際柔道センター 1階 | 飲食店 |
| 3階 | 事務所 |

(2) 駐車場

| | |
|------------|------|
| 講道館 | 11台分 |
| 大阪国際柔道センター | 7台分 |

(3) 自動販売機、その他(ロッカー、コインランドリー等)サービス

事業報告書一 附属明細書

①夏期講習会

| 講習名 | 受講資格 | 講習の目的 | 期間 | 受講者数 (修了者数) |
|------|----------------|-------------|-------------|----------------|
| 第1部 | 男子四段、女子三段以上 | 柔道指導者の資質の向上 | 7.16～ 7.22 | 261 (128) |
| 第2部 | 参段以下の有段者・無段者 | 柔道修行の基礎の確立 | 7.24 ～ 7.28 | 306 (270) |
| 女子柔道 | 女子柔道修行者 | 柔道修行の基礎の確立 | 7.24 ～ 7.27 | 31 (27) |
| 教科柔道 | 柔道指導者及び教科柔道指導者 | 指導法の学習 | 7.29 ～ 7.31 | 41 (39) |
| 少年柔道 | 少年柔道修行者 | 柔道修行の基礎の確立 | 8.3 ～ 8.5 | 226 (207) |
| 計 | | | | 856名 (671名) |

②講道館講習会

| | 日時 | 主催 | 会場 | 内容 | 講師 |
|----|------------------------------------|-----------|-------------------|---------------------------------|--------|
| 1 | 2015/4/12(日) 9:00～16:00 | 福井県柔道連盟 | 福井県立武道館 | 「国際柔道連盟試合審判規定」の解説と実技指導 | 平野 弘幸 |
| 2 | 2015/5/20(水) 9:00～10:30 | 鹿児島県柔道協会 | 鹿児島県総合体育センター 武道館 | 「柔道理論」 | 向井 幹博 |
| 3 | 2015/5/31(日) 9:00～16:00 | 青森県柔道連盟 | みちぎん ドリームスタジアム | 「国際柔道連盟試合審判規定」及び同少年大会申し合わせ事項の解説 | 川島 一見 |
| 4 | 2015/6/21(日) 13:00～16:00 | 杉並柔道会 | 日本大学第二学園 武道場 | 「固の形」 | 下山 陽邦 |
| 5 | 2015/8/16(日) 15:00～17:00 | 日本中学校体育連盟 | 函館アリーナ | 中学校における柔道指導者の在り方について | 佐藤 宣践 |
| | 国際柔道連盟試合審判規定の考え方について | | | 高橋 政男 | |
| 6 | 2015/9/6(日) 9:00～16:00 | 栃木県柔道連盟 | 栃木県武道館 | 「安全指導」に関連した講義及び実技 | 鮫島 元成 |
| 7 | 2015/9/13(日) 10:00～15:30 | 三重県柔道協会 | 三重武道館 | 「国際柔道連盟試合審判規定」の解説、実技指導 | 黒田 一彦 |
| 8 | 2014/9/23(火) 10:00～15:00 | 石川県柔道連盟 | 石川県立武道館 | 「柔道指導法」についての講義と実技指導 | 高橋 進 |
| 9 | 2015/10/12 (月・祝) 13:00～17:00 | 富山県柔道連盟 | 県営富山武道館 | 「基本指導・安全指導」 | 南保 徳双 |
| 10 | 2015/11/22(日) 10:00～16:00 | 埼玉県柔道連盟 | 埼玉県武道館 | 「固の形」 | 山本 三四郎 |
| 11 | 2015/12/6(日) 9:30～15:30 | 静岡県柔道協会 | 静岡市北部体育館 | 「柔道の技」の解説と指導 | 眞喜志 慶治 |
| 12 | 2015/12/13(日) 9:30～15:30 | 札幌柔道連盟 | 北海道立総合体育センター | 「極の形」 | 宇津木 俊博 |
| 13 | 2016/2/11 (木・祝) 10:00～14:00 | 全日本柔道少年団 | 講道館新館2階 教室 | 講道館の活動現況 | 鮫島 元成 |
| | | | | (質疑応答) | 鮫島 元成 |
| | | | | 中学校武道必修化の現状 | 磯村 元信 |
| 14 | 2016/2/21(日) 15:00～16:30 | 三多摩柔道会 | 府中刑務所 ・樹徳殿 | 柔道理論 | 鮫島 元成 |
| 15 | 2016/2/27(土) 09:30～15:00 | 鳥取県柔道連盟 | 鳥取県立武道館 | 「国際柔道連盟試合審判規定」の解説、実技指導 | 天野 安喜子 |

③講道館形講習会

| No. | 日時 | 主催 | 会場 | 講師・形 | | | |
|-----|--------------|------------|------------------------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | 投の形 | 固の形 | 講道館護身術 | 五の形 |
| 1 | 5月9日 (土) | 東京 | 講道館 | 投の形 | 固の形 | 講道館護身術 | 五の形 |
| | | | | 仮屋 力 | 下山 陽邦 | 藤田 真郎 | 佐藤 正 |
| 2 | 5月10日 (日) | 中国 | 山口・維新 百年記念公 園武道館 | 投の形 | 固の形 | 講道館護身術 | 五の形 |
| | | | | 平野 弘幸 | 道場 良久 | 濱名 智男 | 宇津木俊博 |
| 3 | 5月10日 (日) | 東海 | 静岡・沼津 市立沼津高 等学校 | 投の形 | 固の形 | 講道館護身術 | 五の形 |
| | | | | 南保 徳双 | 福島 美智男 | 小野沢 弘史 | 榎 義治 |
| 4 | 5月17日 (日) | 北海道 | 札幌 | 投の形 | 柔の形 | 講道館護身術 | 古式の形 |
| | | | | 小俣 幸嗣 | 鮫島 元成 | 眞喜志 慶治 | 宗 義明 |
| 5 | 5月24日 (日) | 東北 | 福島・ 柏葉体育館 | 極の形 | 柔の形 | 講道館護身術 | 五の形 |
| | | | | 福島 美智男 | 永井 多恵子 | 片田 誠 | 千葉 翠 |
| 6 | 5月24日 (日) | 四国 | ソイジョイ 武道館 | 投の形 | 固の形 | 講道館護身術 | 五の形 |
| | | | | 平野 弘幸 | 山本 三四郎 | 眞喜志 慶治 | 榎 義治 |
| 7 | 5月30日 (土) | 近畿 | 大阪・ 講道館大阪 | 投の形 | 固の形 | 講道館護身術 | 五の形 |
| | | | | 仮屋 力 | 小志田 憲一 | 片田 誠 | 松井 勲 |
| 8 | 6月7日 (日) | 九州 (南部) | 鹿児島 | 投の形 | 固の形 | 極の形 | 講道館護身術 |
| | | | | 鮫島 元成 | 松下 三郎 | 福島 美智男 | 山本 三四郎 |
| 9 | 6月13日 (土) | 九州 (北部) | 佐賀 | 投の形 | 講道館護身術 | 五の形 | 古式の形 |
| | | | | 南保 徳双 | 山本 三四郎 | 山本 四郎 | 村田 直樹 |
| 10 | 6月13日 (土) | 北信越 | 福井県立 武道館 | 投の形 | 固の形 | 柔の形 | 講道館護身術 |
| | | | | 鮫島 元成 | 道場 良久 | 尾形 敬史 | 藤田 真郎 |
| 11 | 7月4日 (土) | 関東 | 埼玉県立 武道館 | 投の形 | 固の形 | 五の形 | 古式の形 |
| | | | | 向井 幹博 | 小志田 憲一 | 宗 義明 | 村田 直樹 |

④海外派遣

ア. 本館による短期派遣

- 八段 藤田真郎 八段 村田直樹
オランダ（世界形選手権大会及びIJF形講習会） 平成27年9月16日～24日
- 九段 上村春樹、八段 鮫島元成、八段 佐藤正、八段 宇津木俊博、八段 藤田真郎
八段 村田直樹、八段 道場良久、七段 小志田憲一、六段 南保徳双、五段 仮屋力
ブラジル（日伯修好120周年記念 講道館講習会=国際交流基金助成） 平成27年5月18日～28日

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

- 七段 大迫明伸、七段 中橋政彦
香港（審判・コーチングセミナー） 平成27年10月30日～11月2日
- 七段 向井幹博
トルコ（柔道フェスティバル） 平成27年5月15～19日
- 上村春樹館長、五段 仮屋力
イタリア 平成27年11月25日～12月1日

ウ. IJF アカデミー への派遣

- 七段 向井幹博
ハンガリー 平成27年6月1日～11日
- 七段 向井幹博
ハンガリー 平成27年12月5日～15日

エ. IJF、JUA 諸会議及び大会への派遣

- 上村春樹館長、大辻広文
クウェート（JUA総会及びアジア選手権大会） 平成27年5月10日～15日
- 上村春樹館長、大辻広文
カザフスタン（IJF諸会議及び世界選手権大） 平成27年8月18日～9月1日
- 上村春樹館長、仮屋力
オランダ（世界形選手権大会及びIJF形講習会） 平成27年9月18日～24日
- 上村春樹館長、大辻広文
フランス（グランドスラム・パリ） 平成27年10月15日～20日
- 上村春樹館長、大辻広文
アラブ首長国連邦（世界ジュニア選手権大会） 平成27年10月20日～30日
- 上村春樹館長、仮屋力
フランス（グランドスラム・パリ） 平成28年2月4日～9日

オ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣

- 四段 千原慎太郎
中国 平成26年4月1日～29年10月1日

カ. 国際交流基金による短期派遣

- 八段 平間忠幸、六段 本田敏郎、六段 坂本道人、六段 手塚勝彦
西アフリカ諸国（セネガル、コートジボアール、ブルキナファソ） 平成28年2月23日～3月8日

⑤ J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員に関わる事業

ア. J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

期間 : 平成 28 年 3 月 2 日～25 日

受講者 : 平成 28 年度 1・2 次隊 5 名

参段 岩永憲門 参段 藤原巧 参段 荒田幸里

式段 森孝臣 女子参段 内田美優

イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員
平成 27 年度に任期を終了して帰国した隊員 (計 5 名)

参段 長谷川靖 (ペルー) 参段 勅使瓦慧 (インド)

参段 山崎将太 (ブルキナファソ) 参段 中村俊文 (インドネシア)

女子参段 鈴木祥子 (ラオス)

平成 27 年 3 月 31 日現在で赴任中の隊員 (計 17 名)

女子参段 秋山日向子 (ヨルダン) 参段 堀内芳洋 (ブータン)

参段 狩野貴大 (ペルー) 参段 門脇直生 (ウズベキスタン)

参段 飯塚佑 (ボツワナ) 参段 森田直也 (モンゴル)

女子参段 星山幸美 (モンゴル) 参段 清水龍一 (ネパール)

参段 平川将康 (タンザニア) 参段 江波戸涼介 (タンザニア)

参段 関口裕喜 (ガボン) 参段 小林大起 (チリ)

参段 射手矢弦太 (パナマ) 参段 江口吹樹 (サモア)

参段 水野泰晴 (マダガスカル) 参段 村山寛 (ラオス)

参段 松本慎平 (パラグアイ)

ウ. J I C A（国際協力機構）シニア海外ボランティア

平成 27 年度に任期を終了して帰国したシニアボランティア (計 0 名)

平成 27 年 3 月 31 日現在で赴任中のシニアボランティア (計 1 名)

七段 萩野孝司 (ボツワナ)